

イヨクジャク *Diplazium okudairae* Makino

【評価理由】

個体数階級 4、集団数階級 4、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 2、総点 15。西南日本から中国大陸にかけての暖帯に分布する日華区系の植物で、県内では生育地も個体数も極めて少なく、存続の基盤が脆弱である。総点は 15 だが、危機的状況を考慮し、絶滅危惧 I A 類と評価する。

【形態】

夏緑性の多年生草本。根茎はやや短くは、先端に少数の葉をつける。葉柄は緑色で長さ 20~30cm、葉身は三角状披針形で単羽状に切れ込み、淡緑色~淡黄緑色、長さ 25~40cm、幅 13~22cm、最下部が最も幅が広く、先端は次第に狭くなって鋭尖頭となる。羽片は 8~10 対、鋭尖頭、基部は不相称で、前側は耳状になる。胞子のう群は羽片の中肋近くに 1 列にならび、長さ 1cm に達する。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：8 鳳来北東部（芹沢 83844, 2008-11-6）に 1 カ所、小群落がある。豊根村佐久間湖岸にあったという話もあり、現地にも行ってみたが、確認できなかった。

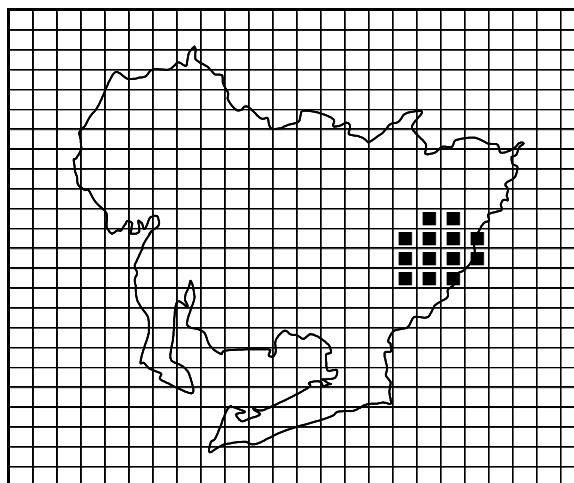
【国内の分布】

本州（静岡県以西の太平洋側）、四国、九州の山地に生育している。

【世界の分布】

日本、中国大陸。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

暖地の深山の、沢沿いの陰湿な林内に生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○			
草・岩				
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

沢沿いの斜面にややまとまった群落がある。森林の伐採により消滅するおそれがある。

【保全上の留意点】

マニアに採取されるおそれがあるので、分布情報の公表に際し慎重な配慮が必要である。

【特記事項】

周辺には、本種とノコギリシダとの自然雑種であるアカメクジャク *D. × okudairaeoides* Sa.Kurata（標本：芹沢 83843, 2008-11-6）も生育している。

【関連文献】

保シダ p.136, 平シダ p.252, 学シダ II p.325, SOS 旧版 p.41.  
倉田 悟・中池敏之(編). 1983. 日本のシダ植物図鑑 3: 152-155. 東京大学出版会, 東京.